

研修所月報 令和元年 12 月号



12月実施研修

救急法講習会 [12月3日、5日、10日]	地域力向上研究 [12月20日]
法制執務（審査編）[12月5日、6日]	

※ [] 内は、研修日。

研修レポート

1 救急法講習会（研修区分：能開防）

講師：日本赤十字社山梨県支部職員

この講習会では、3日間に渡り、心肺蘇生法やAEDの使い方、急病やケガの手当て（包帯法など）等の知識を学びます。

今回は、4団体5人の少数精鋭でしたので、その分、実技をみっちり行いました。

受講生からは、「実生活で起こりうるケガ人等の手当の仕方を学べ、とても参考になった。」
「実技が多くあり技術習得に役立った。」等の声が聞かれました。

私も研修生として参加しましたが、最終日の試験（実際の災害を仮定しての実技試験が最終日に行われます。）は、試験と分かっているにもかかわらず緊張や焦りでうまく対応できませんでした…。

皆さんは、いざというときに人命救助に動くことができますか？

ちょっと自信がないという方は、是非、次年度に受講を考えてみてください！！！！！！



2 地域力向上研究～県・市町村協働で地域資源の活用策を探る～（研修区分：能開政）

講師：（一財）公共経営研究機構 鴨志田 武史 氏

この研修は8月から毎月1回の計5回実施し、若手職員を中心に県職員6名と市町村職員12名が3班に分かれ、協働で政策案を作成しました。最終日となった今回は、午前中にリハーサル

と最終調整を行い、午後からは「自治会館管理・市町村職員研修業務に関する市町村主管課長会議」内で山梨県職員研修所長、市町村の主管課長及び聴講希望者に向けて政策案のプレゼンテーションを行いました。

聴講された主管課長等からは、「限られた時間の中で作った政策のプレゼンテーションができ、価値のある経験ができる研修だと思った」、「組織を越えた交流が生まれ、今後の仕事等に活かせると思う」などの声をいただきました。

5日間の研修を終えた受講者からは、「限られた時間の中で政策を考えるのは大変だったが、プロセスなど勉強になった」や「他の市町村や県の職員という普段交流できない方々と色々な話ができとても貴重な体験ができてよかった」などの声が上がりました。

研修所では、研修を通じ学んだ知識や視点を活かすとともに、今回できた県職員と市町村職員の人的ネットワークや協働意識を今後も続けていってほしいと思っています。

《各班の政策テーマ》

- 1 班 芸術と農業の陽だまり@峡東地域
- 2 班 ウェルネストラベルによる地域観光活性化
- 3 班 山梨おぼん彩りプロジェクト



今後のイチ押し研修

※現在募集中の研修・今後実施する研修

・環境創造セミナー「災害廃棄物対策 ～その基礎から対応方法まで～」

日 時：1月31日（金）9：30～11：30（終了後、30分間希望団体と個別相談を実施）
講 師：国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター
主任研究員 多島 良 氏
申込期限：1月23日（木）

・広報研修「広報におけるデザインテクニック」

日 時：1月31日（金）13：30～16：00
講 師：グラフィックデザイナー 平本 久美子氏
申込期限：1月23日（木）